

◆名古屋空襲跡と復興を撮影したモージャー氏◆企画展「名古屋大空襲」によせて

運営委員 金子 力

ピースあいちで開催中の企画展「名古屋のまちに爆弾が降ってきた―名古屋大空襲」の一角に戦後すぐに来日して名古屋空襲跡と復興を撮影したモージャー氏の写真が展示されています。今回はこの「モージャー氏の写真」についてです。

2017年国立国会図書館が「モージャー氏撮影写真資料」を公開して以来、マスコミやインターネット上で話題になってきました。モージャー氏撮影写真の歴史的価値は、敗戦直後の名古屋の焼け跡の様子と人々の暮らし、復興に向かう姿が当時貴重であったカラー(コダクローム)で撮影されているからです。304枚のカラースライドには東京、広島、岐阜、京都、山梨等で撮影されたものも含まれていますが、名古屋とその周辺が一番多く、全体の約半分を占めています。国会図書館によると撮影したモージャー(Robert V Mosirer)氏はGHQの文民スタッフとして1946年4月から1947年1月にかけて来日して、写真撮影をしています。これらのカラースライドは2008年、モージャー氏の親族から日本の国会図書館に寄贈され、デジタル処理がされて公開されるようになったようです。

モージャー氏の任務については紹介が無いので詳細は分かりませんが、撮影した写真の中に、東京のGHQ総司令部(第一生命ビル)から連合軍最高司令官マッカーサーが専用車に乗り込む姿を近くから撮影したものや、名古屋に駐留した米第5空軍司令部の執務室での撮影、被爆した広島市街地の撮影などを見ていると一般の米軍将兵では撮影できない場面での撮影ができる立場にあったようです。



皇居二重橋のモージャー(Robert V Mosirer)



GHQ 総司令部から専用車に乗り込むマッカーサー



迷彩塗装された愛知県庁・名古屋役所

名古屋市街地の写真の中には、迷彩塗装が施された愛知県庁、名古屋市役所、進駐軍に司令部として接收された広小路通りの名古屋日本徴兵館ビル(「日本徴兵保険名古屋支部ビル」この建物は戦前の名古屋で最新の防火窓、冷暖房設備が施されていたので空襲にも耐えた数少ない建物)、内部は焼けたが鉄筋コンクリートの建物そのものは持ちこたえた南大津通りの松坂屋などがあります。よく見ると、店舗の営業は始まっていませんが、最上階の一角では進駐軍向けなのかキャバレーの営業の文字が見えます。



広小路通り名古屋日本徴兵館ビル



南大津通り松坂屋

モージャー氏の撮影は広小路東新町交差点にあった「陸田ビル」(名大病院の分院)、新堀川の松重閘門、名古屋タイムズビル、焼け落ちた名古屋城本丸など特徴のある建物などに目を向けている一方、通りを歩く人々、焼跡に建ちはじめた住宅など復興の動きも捉えています。広小路通りの2階建ての中村百貨店では年末大売り出しの看板が立ち、表通りの飲食店名にアルファベットも並びだします。「サロンシキシマ」の店頭にはサンタクロースが登場しています。年が明けると、戦時中は見られなかったきれいな和服姿の女性が街を歩き、お正月の風景が一部戻ってきているようです。その一方、裏通りでは焼け跡の残る風景の中で闇市のような屋台に群がる人々の姿がみえます。



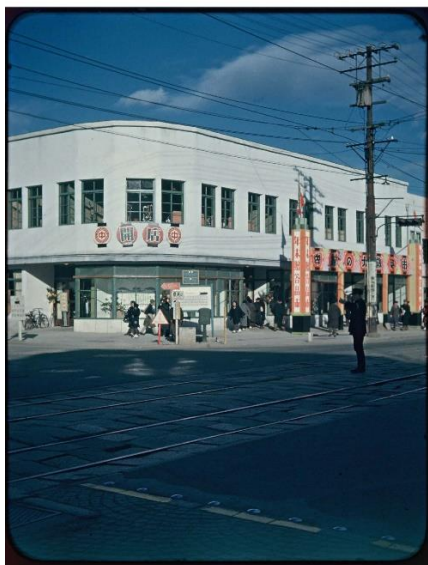
松重閘門



名古屋城東南隅櫓



東新町 陸田ビル



中村百貨店



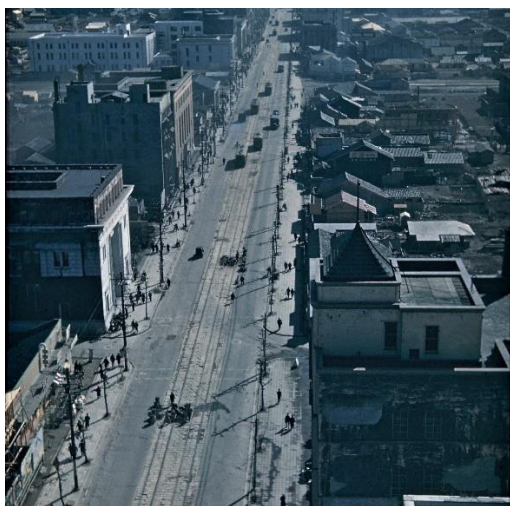
広小路通り商店



正月の人通り 広小路通り

闇市か？

これ程自由に写真を撮影できたモージャー氏とはいったい何者だったのか？それを示す資料はまだ見つかりません。ただ、名古屋の焼け跡と復興の様子を撮影した写真の一部が1947年6月に米国戦略爆撃調査団が作成した対日戦域での報告書(全108巻のうちの第57巻『名古屋市における空襲の効果』)にモージャー氏の撮影した写真と同じ位置から撮影したと思われる写真が掲載されています。納屋橋の朝日新聞社ビルから東方に向かって広小路通りを俯瞰した写真です。名古屋を代表するメインストリートを撮影したものです。



朝日新聞社より広小路通りの俯瞰 1946~7
モージャー氏撮影

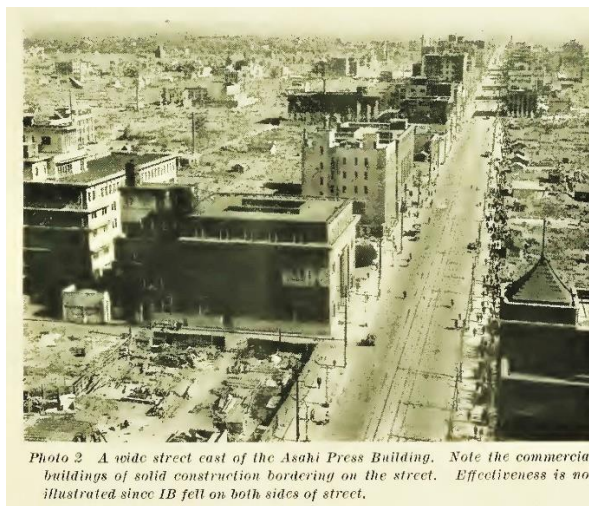


Photo 2 A wide street east of the Asahi Press Building. Note the commercial buildings of solid construction bordering on the street. Effectiveness is not illustrated since IB fell on both sides of street.

朝日新聞社より広小路通りの俯瞰 1945
『米国戦略爆撃調査団報告書 No.57』

『報告書 No.57』が発行されたのは 1947 年 6 月で、モージャー氏が帰国したのは 1947 年 1 月です。今となってはモージャー氏に直接聞く事はできませんが、米国戦略爆撃調査団の一員として撮影していたのか、たまたまの偶然なのか？です。他にもまだ同じ位置から撮影した写真がありそうです。